

「NPO等活動支援による社会課題解決事業」令和5年度採択事業

事業	関連するSDGsゴール	概要	団体（所在地）
不登校の子どもと保護者の居場所	<ul style="list-style-type: none"> 働きがいも経済成長も（ゴール8） 住み続けられるまちづくりを（ゴール11） 	不登校の課題に、①不登校の未然防止、②当事者への対応、③不登校の子どもを取り巻く環境の整備といった、防止と子どもと保護者のケアと未来に向けた取組みの3本の柱で解決に向けて取り組みたいと考えています。これらに一体的に取り組めるよう、地域や学校と協働して「夢の種さがし」ができる居場所をつります。	特定非営利活動法人こども夢教室 (大阪府高石市)
グループホームいびき【ユニバーサルカフェ】プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> すべての人に健康と福祉を（ゴール3） 働きがいも経済成長も（ゴール8） 平和と公平をすべての人に（ゴール16） 	貝塚市が運営していた元「ほの字の里」かいつが温泉リゾートの運営を受託、引継ぎました。新しく誕生した「いびきビレッジ」の研修棟をリフォームし「グループホーム」を開設します。障がいのある方が支援やサポートを受けながら、共同生活をし、農業と宿泊業と飲食業で働く環境を創ります。	一般社団法人FUKURO (京都府京都市)
在宅で、夜の介護を必要とする病児とご家族に、手作りのあかりを届ける	<ul style="list-style-type: none"> すべての人に健康と福祉を（ゴール3） 	一般的に私たちが暮らしているお部屋の天井には明るい照明がついています。在宅で介護する場合も、この状況は変わりません。しかし、ベッドで寝ている子供の目には、いつも眩しい光が入ってきています。これでは心が落ち着かないだけでなく、睡眠や体内時計にも悪影響が出ます。更に、24時間介護している家族は、夜間も起きて痰の吸引等が必要です。そんな時、眠りを妨げない優しいあかりや、介護しやすい間接照明があれば、過酷な夜間の介護の負担を軽くできます。私たちは、そんな照明環境を届けます。	認定特定非営利活動法人ノースайд (大阪府東大阪市)
LGBTQも取り残されないまちづくり～オール大阪で取り組む LGBTQも安心して利用できる社会資源の増加と地域支え合いの向上～	<ul style="list-style-type: none"> 貧困をなくそう（ゴール1） すべての人に健康と福祉を（ゴール3） 質の高い教育をみんなに（ゴール4） ジェンダー平等を実現しよう（ゴール5） 人や国の不平等をなくそう（ゴール10） 住み続けられるまちづくりを（ゴール11） 平和と公平をすべての人に（ゴール16） パートナーシップで目標を達成しよう（ゴール17） 	LGBTQは精神障がいや生活困窮における高リスク層である一方、76%が行政・福祉サービス利用時に困難を経験する等、安全網を安全に利用できず、孤独・孤立や自死に繋がっています。本事業では、①直接支援、②大阪府や全国のLGBTQ団体と連携し、府内の福祉事業者等への支援ノウハウの提供、③市町村への啓発・連携・協働を通じ、複合的なニーズへの対応も含め、LGBTQも安心して相談・利用できる社会資源を増やします。また、持続可能性のある切れ目のない支援を提供し、「どの街でも、取り残されずに暮らせること」を目標とします。	認定特定非営利活動法人ReBit (東京都渋谷区)
「認知症の方も使えるアプリ」を活用した、1人でいても、ひとりぼっちにしない「福祉SNS」～声を集めて「つながりあい・ささえあい」を実現して、関係性の回復を目指します～	<ul style="list-style-type: none"> すべての人に健康と福祉を（ゴール3） 質の高い教育をみんなに（ゴール4） 産業と技術革新の基盤をつくる（ゴール9） 住み続けられるまちづくりを（ゴール11） パートナーシップで目標を達成しよう（ゴール17） 	「望まない孤独孤立（空白の期間）」の環境にある「大阪府内の認知症当事者とご家族」に対して、地域資源「①先輩当事者・ご家族・支援団体・福祉関係者が経験してきた声（体験・ノウハウ・知恵）や②地域の「集いの場」の声（カフェ・食堂の体験）」を集め、個人情報非登録で情報連携できる「認知症当事者も使えるアプリ（福祉SNS）」を使って音声で提供し、当事者の「大切な受容期間」を支え、心を満たして、地域とつながり合う環境を創ります。	一般社団法人セーフティネットリンケージ (北海道札幌市)
放置竹林等の地域課題解決と生きづらさを抱える人々に雇用の場を創出	<ul style="list-style-type: none"> 貧困をなくそう（ゴール1） エネルギーをみんなにそしてクリーンに（ゴール7） 働きがいも経済成長も（ゴール8） 住み続けられるまちづくりを（ゴール11） 	竹林等の地域の材が有効活用されずにCO2を排出し、環境破壊の要因となっています。また、新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響により、生活困窮者の雇用状況や障がい者の工賃の改善は依然として厳しい状況です。これらの状況を改善するために、放置竹林等の地域に埋もれた資源を生かして、生きづらさを抱える人々に雇用の場を創出するとともに、再資源化などカーボン・ニュートラルに向けた取り組みを行います。	特定非営利活動法人ディーセント・ファーム かしわら (大阪府柏原市)
良質な学びをすべての子どもに！ こどもの原石(潜在能力)を磨く教室【MANA-viva】で、困窮世帯の児童にも学習支援の場を提供する	<ul style="list-style-type: none"> 貧困をなくそう（ゴール1） 質の高い教育をみんなに（ゴール4） 人や国の不平等をなくそう（ゴール10） 	3年近くに亘り、子どもの居場所を運営して見てきたのは、非認知能力の向上と学び直しができる支援の場の必要性です。コロナ禍で学校や家庭が余裕を失い、中でも困窮する世帯は学校以外の学習機会が損なわれ、学習が不完全なまま進級した子どもたちは、自己肯定感が持てず、劣等感を持ちやすくなっています。この状況を改善するために、特に学校以外での学習機会の格差を抱える困窮世帯の児童に対して、学び直しの場を大学生や高校生のボランティアと共につくります。	一般社団法人HOMEステーション (大阪府大阪市)